

地域と共に歩む学校をめざして

下関市立内日中学校

学校運営協議会について

年間4回開催（小・中合同で開催）

第1回（5月） ○学校経営方針等の説明 等

第2回（7月） ○プロジェクト別協議

○1学期の振り返りと今後の活動
について 等

第3回（11月） ○小・中学校授業参観 等

第4回（3月） ○学校評価、次年度の学校運営方針
の承認 等



「第1回学校運営協議会」

特色ある活動

◆多様な意見を取り入れた教育活動の充実

【参加型参観授業】実施日：11月12日（木）

○参加者：学校運営協議会委員・内日小教職員

道徳の授業におけるグループ学習に学校運営協議会委員の皆様に加わっていただき、日頃とは異なる多様な意見の出る話し合いを行いました。生徒が自らの意見を意欲的に述べる場面や委員の皆様の見解に耳を傾ける場面が数多く見られ、深い学びにつなげることができました。



「参加型参観授業」

<参加した委員さんの感想>

- ・活発な討論がなされていました。
- ・よく考えてまとめようと努力する姿勢が身に付いていると感じました。

◆ふるさとを愛する心の育成に向けた取組

【しめ縄づくり教室】実施日：12月9日（水）

○参加者：全校生徒・地域住民

内日公民館職員・学校運営協議会委員

内日公民館と連携して、地域住民の方を講師に迎えて「しめ縄づくり教室」を行いました。初めに講師の方にお手本を作っていただき、その後グループに分かれて作り方を教えていただきました。地域に伝わる伝統文化に触れる絶好の機会となりました。



「しめ縄づくり教室」

<生徒の感想>

- ・わらをねじるところが難しく、きれいに作るのに苦戦しました。
- ・最初はできるか不安だったけど、分からないところを教えてもらいながら、最後までできて、うれしかったし、楽しかったです。

来年度に向けて

次年度は、今年度大幅に改訂した「学校・地域連携カリキュラム」の本格的な活用をめざして、小学校・地域との連携を深めるとともに、取組の充実化・効率化を図っていきたいと考えています。

地域とともにある学校づくりをめざして

下関市立内日小学校

学校運営協議会について

(1) 実施回数

年間4回開催（5月・7月・11月・2月）

※7月は全教職員が参加、11月は授業参観・給食試食会あり

(2) 主な協議内容

- ・学校経営方針の説明、学校の現状と課題
- ・学校運営協議会の活動
- ・3つのプロジェクト（学び・心・健康）での協議、情報交換など
- ・学校評価及び本年度の反省、次年度の活動

特色ある活動

◆地域の方々・保護者・中学校の先生方による学習支援

(1) サマースクールでの赤ペン先生

夏休み明けの2日間、1学期の学習内容の補充・発展問題に取り組むサマースクールを行いました。地域の方々・保護者・中学校の先生方に学習支援をしていただきました。

「赤ペン先生」としての丸付けだけでなく、一緒になって問題を解いたり、温かい励ましの声をかけたりしていただいたおかげで、子供たちは楽しく充実した学習を行うことができました。

(2) 学習者として道徳の授業に参加

本校は少人数であり、多様な見方・考え方にふれることが難しい状況です。そこで、地域の方々に、参観者としてではなく、学習者として道徳の授業に参加していただき、話し合いに加わっていただきました。おかげで、子供たちはふだんの授業とは違う対話的な学びを体験することができました。また、教員にとっても道徳の授業改善の契機となりました。

◆地域の清掃活動～美化美化（ピカピカ）大作戦

学校運営協議会の「心」プロジェクトで協議されたことを受け、小・中学生、地域の方々に、学校周辺の清掃活動を行いました。地域の方から「ありがとう」

「がんばってね」などと声をかけられ、子供たちはやる気满满でがんばりました。学校に戻り、ゴミの分別もきちんと行いました。

来年度に向けて

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止ため、計画していたコミュニティ・スクールの取組ができなかったことが多く、地域の方からも学校に行く機会が減り、残念だったという声をたくさん聞きました。来年度は感染防止対策を十分検討した上で、今年度の取組の反省を生かし、学校及び地域を盛り上げる取組を行っていきたいと思います。

